

『デンマーク一般事情』

お話し：澤渡 夏代 Brandt さん

記録：梶原 朋子

★はじめに

テーマは「自立」。自分の人生のターゲットでもあります。デンマークの人々は生まれた時から「自立」に向かい育てられています。自分の人生と向き合い見つめ直すヒントにつながります。

デンマークは地震が少なくレンガでできているため300～400年経た建物が多く現存します。童話作家のアンデルセンが生誕200年ですが、すぐにも200年前に帰ることができます。建てては壊しくルクルと変わるビルの街東京とは違います。

日本人の意識が変わらなければデンマークの真似はできません。

★国の形態

- ・ 全国人口：548万人（移民+その二世、9.1%…498,000人）東京都の半分の人口
- ・ 首都：コペンハーゲン市52万人、首都圏地域115万人、ロスキレ市8万人
- ・ 政府：立憲君主制
- ・ 元首：マーガレット女王…象徴的存在
- ・ 議会：一院制。議員定数179議席
- ・ 内閣：連立政権（自由党、保守党による右派連立政権）
首相：ラース・ラスムッセン
- ・ 国教：1536年の宗教革命によりルーテル（82・1%）



＜荘厳な雰囲気のあるデンマーク王宮＞

★デンマークの行政分担 2008年度

- ・ 行政改革:2007年1月1日付けで14県→5レジオンに（保険区）・275自治体が98communeに
- ・ 国レベルの仕事：各省庁、法律条例、大学教育、司法、治安、鉄道、職業、通後期中等教育、税金、年金
- ・ レジオン(5レジオン)の仕事:医療、病院、専門医、開業医、福祉—重度、教育—特別教育
- ・ 自治体(98commune)の仕事：男女が公平に社会に存在することを目指す
- ・ 児童福祉：(保育)・障害者福祉・基礎教育(フォルケスクーレ小中学校—小中一貫教育)
- ・ 高齢者福祉(医療的予防、トレーニング、道路、交通、環境、文化、ライフライン、職業斡旋)

★労働市場

- ・ 失業率：2008年8月－1.6%→2009年1月－2.3%(642、000人)
- ・ GDP(国民一人あたりの国内総生産：2008年世界ランキング7位(日本は22位))
- ・ インフレーション：3.4%
- ・ 勤務体制：常勤－37時間、週休完全二日制(年間5～6週間の有給休暇)、
- ・ 産休、育児休暇制度
- ・ 職場と家庭のバランス：円満な家庭は、良い仕事につながる。
平均保育時間－8：00～16：00(午後3時～4時がお迎え時間)

★デンマークの国のかたち

- ・ 国家体制：社会福祉国家－全国民の合意
1849年・王フレデリック7世、「民主憲法」に調印(日本は黒船来航ちょんまげ時代)
高福祉＝高負担

★義務

- ・ 所得税(38.8%～63%)
- ・ 付加価値税:消費税 VAT (25%)、
間接税：種類別(車200%、タバコ、酒等)

★権利

- ・ 教育、医療、社会年金、社会福祉 etc
“私たちは守られている”

★貯蓄

国民年金とは別に今までの生活を継続したい考えから15～20年前から個人年金として貯金をする人が出始めた。

★デンマークの価値観

- ・ 民主主義(デモクラシー)：人が中心、
対話(知らない、分からないが通らない)、

平等(子供や上司関係なく－言葉でも)
自立(自己決定、自己管理)、参加
(EC加盟国－小さい国だがヨーロッパの
ことを自分も参加して決める)

- ・ QOL「自分らしく」



＜ソルバングの入居者の方の笑顔に触れて＞

★デンマークの福祉とは

- ・ すべての人々の豊かな生活(保育、教育、
医療、住居、道路、環境、介護)・
豊かな福祉＝豊かな生活
- ・ Welfare＝健康で快適な生活などを
含めた意味での幸福
- ・ デンマーク＝生活優先国
(日本＝経済優先国か)
- ・ 男女参画型社会：・18歳成人年齢・複世代
の同居は極少.約5%(日本は50%弱)
- ・ 夫婦共働き(3役)－夫妻、父母、
・ 労働者 女性労働率74.5%
男性労働率80.2%

★定年退職組の生活

- ・ 65歳:公的年金受給者・高等教育を受けた
世代「自分の人生を自分で決定したい」
年代
- ・ 既婚女性の独立申告制度(1983年)
- ・ 65～75歳、第3の人生をエンジョイ

★年をとることに不安はとサポート

- ・ 60 歳以上の人口 22.4%
- ・ 健康について：公的医療、介護、看護、精神：家族との交流
(スープの冷めない距離)
- ・ 経済：基本年金:月に 10.543 Dkk
(約 24 万円)この中から 38%の税を払う
- ・ 高齢者チェック:年に 10.300 Dkk
(約 24 万円/月約 2 万円)、22 万人が受給

★デンマークのセーフティーネット

- ・ 家族構成や財力は無関係
- ・ 必要な人に、必要な時、必要なだけ、公費で援助(日本は保険制度、DKは税金で拠出)
- ・ 自治体の判定が必要・スタッフは公務員

★デンマークの介護

- ・ 人としての尊厳
- ・ 人生の継続性—自己決定の尊重、残存能力の活用・高齢は病気ではない
- ・ 「優しさ」の違い—できることに焦点をおき、できないことへの援助→DKと日本の優しさの違い

★介護・看護サービス

- ・ 予防訪問:75 歳以上は半年に 1 度(サービスは判定を受けてからスタート)
- ・ 在宅ケア:ホームヘルパー訪問介護、住宅改造、補助器具提供、配食サービス、ターミナルケア
- ・ デイケア&デイホーム:リハビリ(機能維持訓練)、社会的交流、認知症

★住宅対策

- ・ 住宅改造—障害をもっても継続して暮らせるように改造

- ・ 高齢者住宅—自治体が斡旋権を持つ。バイアフリー、賃貸住宅、65 m² (寝室.リビング、キッチン.トイレ.シャワー)
- ・ プライエム (介護ホーム) —1970 年代に多く建設 (1 人 1 室)
- ・ プライボーリ (介護住宅) —高齢者住宅とほぼ同様
- ・ 住宅補助金—貧富の関係なく隣同士になることもある

★高福祉・高負担

- ・ 多すぎる人も少ないが、少なすぎる人も少ない

★デンマークの悩み

- ・ 公費生活者が約 100 万人 (2006 年)・移民とデンマーク社会の統合問題
- ・ 医療 (15 時に手術時間終了してしまう—9 時に開院、8~17 時電話相談、医師が少ない、医薬分業)
- ・ 自己中心化する若者・EU 27 カ国の中のデンマークの位置

★2007 年度目的別経費割合

- ・ 社会保障費 41.8%、教育費 14.4%、医療費 14.3%、住宅及び公共設備 1.2%、文化、信仰 3.0%、社会政策費全予算の 74.7%

★私たちにできること

- ・ 正しい民意の代表を選ぶ—投票権は神様のプレゼント。投票率 85% (1988~2005 年)
- ・ 「仕方がない」の口癖をやめましょう。
- ・ まず身近なところから—褒める、聞く、話す、見守る、参加の姿勢が必要です。
- ・ 経済が良くなれば生活が良くなり、生活が良くなればいい仕事に反映するのです。